

第6回イメージング講習会のお知らせ

東京大学医科学研究所共同研究拠点では、イメージング技術の普及を目指し、専門家の指導のもと、実際に最新の顕微鏡を使いながらイメージング技術を学ぶ技術講習会を、愛媛大学との共催で開催しております。

本年度も昨年に引き続き、講習会を開催する運びとなりました。本講習会では、特に、2光子励起顕微鏡と超解像顕微鏡に焦点を絞り、その試料作製から機器操作、3Dソフトウェアを用いた画像化までの実技を行う予定です。

主催：東京大学医科学研究所共同研究拠点

共催：愛媛大学医学部・プロテオサイエンスセンター・附属病院先端医療創生センター、東京大学医科学研究所顕微鏡コアラボラトリー、新学術領域研究「蛍光生体イメージ」総括班、CREST 光展開

協賛：株式会社ニコンインステック、株式会社パーキンエルマージャパン

日時：平成27年1月15日（木）～16日（金）

場所：東京大学医科学研究所（東京都港区白金台4-6-1）

対象：教育研究機関に所属する研究者(大学院生を含む)および技術系職員で、現在の研究・業務で蛍光生体イメージングを行っているか、あるいは近く開始する予定で、意欲にあふれる方6名(定員オーバーの場合は主催者で選考します)。

費用：無料（ただし、交通費・宿泊費の支給はありません）

●スケジュール(1泊2日)

第1日目／1月15日（木）10:30～16:00

講義① 「多光子励起顕微鏡を用いた生体イメージング」（大嶋佑介／愛媛大学大学院医学系研究科 分子病態医学講座）

講義② 「超解像イメージングの基礎と応用」（飯村忠浩／愛媛大学プロテオサイエンスセンター バイオイメージング部門）

実習① 超解像顕微鏡を用いた画像取得の基本操作

構造化照明法超解像顕微鏡（SIM）およびローカリゼーション法超解像顕微鏡（STROM）を用いて、免疫染色を施した細胞のオルガネラなどを鮮明に撮像する技術を体験する

第2日目／1月16日（金）9:00～16:00

実習② 2光子励起顕微鏡を用いた生体深部 in vivo イメージング

2光子励起顕微鏡を用いて、H2B-GFP マウス（全身の細胞核で GFP を発現している遺伝子組換えマウス）の器官・組織を生きたまま観察する"in vivo イメージング"に挑戦する

実習③ 3次元画像解析ソフトウェアを用いた画像データの扱い方

高性能 3D イメージングと画像解析を行うことができるソフトウェア"Volocity"を用いて、2光子励起顕微鏡や超解像顕微鏡を用いて実際に取得した画像をその場で処理・解析する

●応募方法：以下の 9 項目について記載の上、fli@m.ehime-u.ac.jp までメールをお送りください。（記載事項はワードファイルのメール添付にてお願いします。）

〆切は12月13日（金）午後5時、発表は翌週以降にメールにてお知らせします。

1) 氏名:

2) 性別:

3) 年齢:

4) 所属（代表者氏名も併記）:

5) 所属先住所:

6) E-mail:

7) TEL and FAX:

8) 研究テーマ:

9) 現在の研究の内容と研究環境（600字以内、文字数厳守。選考の場合はこの項目の内容が重視されます。特に施設内の2光子励起顕微鏡・共焦点レーザー顕微鏡などの有無とその活用状況、また、東京大学医科学研究所共同研究拠点への申請や東京大学医科学研究所顕微鏡コアラボの利用等を考慮されている場合についてはそちらについても必ず記載してください。）: